

男性の家事・育児・介護等参画促進事業【松江市】

個別事業費	1,224 千円
交付金額	612 千円

地域の実情と課題

- 山陰地方で人口最大の中核都市であり、山陰地域で事業を展開する企業の支店や本社が多い。
- 松江市の25～44歳までの配偶者を持つ女性の有業率は86.6%と全国平均76.8%を上回っている。
- 共働き率が高い一方で男性の家事関連時間は133分と女性の357分に対して3分の1となっており家庭における負担が女性に偏っている。

事業の特徴

- 男性の家事・育児等への参画促進及び女性のライフイベントとキャリアの両立について、職場の上司、同僚の理解促進を図るため仕事と家事・育児等の両立に奮闘する人の生活を疑似体験するVRセミナーを開催した。
- 仕事と家事・育児等の両立に奮闘する当事者だけでなく、その当事者を部下に持つ上司についても追体験を行うなど、様々な立場にいる人の視点を疑似体験した。また、疑似体験後にグループディスカッションを行い、より多角的な学びが得られるようにセミナーを実施した。

事業の効果

- 参加者アンケートでは「セミナーの内容に満足」と答えた人の割合は、2回平均で94.8%「自身の働き方を見直し、職場環境の改善に活用できるか」という問いについては「活用できる」と感じた人の割合は第1回100%、第2回95.8%と高い評価を得ることができた。
- VRIによる一人称視点の疑似体験は問題をより自分事として捉えることができ、日々の仕事や生活を振り返るきっかけになったという参加者が多かった。

目的・目標

- 【目的】男性の家事・育児参画を推進することで女性が結婚や出産を経ても自身の望むキャリアを実現できるまちとなるように環境の整備を図る。
- 【数値目標①】VRセミナー参加事業所数
〔目標達成度〕41.2%〔実績〕33事業所〔目標〕80事業所
- 【数値目標②】まっえワーク・ライフ・バランス推進ネットワーク会員事業所数
〔目標達成度〕98.9%〔実績〕182事業所(R6.1月比11事業所増)
〔目標〕184事業所(R6.1月比13事業所増)
- 【数値目標③】セミナー内容に満足した人の割合
〔目標達成度〕94.8%〔実績〕第1回目93.8%、第2回95.8%〔目標〕100%

連携団体

- まっえワーク・ライフ・バランス推進ネットワーク(会員数182事業所:松江地区商工会、商工会議所連携協議会、連合島根東部地域協議会、国立大学法人島根大学、松江市をはじめ、市内に事業所がある企業・団体等で構成されたネットワーク)
- 島根県

今後の課題

- セミナーの開催時間に対して視聴するVRコンテンツが多かったことから、グループディスカッションの時間を若干短く設定せざるを得なかったため、他事業所の取り組みや雰囲気について参加者同士で共有することが難しかった。
- 参加者からは自身の働き方を見直す契機となったなど肯定的な意見を得ることができ、満足度も高かった一方で、男性の家事・育児等の参画推進や女性のライフイベントとキャリアの両立を推進するにあたって各事業所が抱えている課題を明らかにすることができなかったため、市内事業所の課題把握に努める必要がある。

事業の概要

- 日時
 - 第1回: 令和6年8月29日
 - 第2回: 令和7年1月22日
- 場所
 - 第1回: 松江市市民活動センター2F 201・202研修室
 - 第2回: 松江市市民活動センター5F交流ホール
- 内容
 - ① 育児と仕事、介護と仕事の両立等をテーマとしたVRコンテンツの体験
 - ・上記のテーマに沿った4種のVRコンテンツを体験。育児等と仕事を両立する当事者視点のものに加えて、その当事者を部下にもつ上司の視点など、様々な立場にいる人の視点を疑似体験する。
 - ② グループディスカッション
 - ・視聴したVRコンテンツについてグループ内で意見交換を行う
 - ③ 講師による解説
 - ・VRコンテンツのテーマについて、問題とその解決策について講師から解説。
- 講師
黒田麻衣子氏(株式会社シルバーウッド専任ファシリテーター)
- 参加者
 - 第1回: 16名
 - 第2回: 26名

※まつえワーク・ライフ・バランス推進ネットワーク加入事業所、松江商工会議所会員事業所等から参加を募った。

➤ セミナーの様子

